

神奈川県立 相模原中等教育学校

〔神奈川県相模原市〕



**神奈川の真ん中、相模原に生まれた初の
県立中等教育学校は、一昨年度は東大合格者も
9名出し、全国も注目。創立10年目を迎え、
その教育スタイルにもいよいよ磨きがかかる…**

神奈川県立相模原中等教育学校は同じく県立の、相模大野高等学校を母体校に、2009年に開校。神奈川県立では平塚中等教育学校とともに、最初の中等教育学校として、県の教育の未来を担っている

取材・文／鈴木隆祐 写真／松沢雅彦
デザイン／タケウチフミヒロ (landfish)

意外と見落とされがちだが、周辺市町を合併した結果、相模原市は人口 72 万人を擁する政令指定都市となっている。市内には JR 東日本、京王電鉄、小田急電鉄合わせて 6 つの鉄道路線が走り、圏央道相模原 IC と相模原愛川 IC の相次ぐ開業で、東京都心部への交通アクセスも格段によ

くなった。中心部の相模大野から新宿までは、小田急小田原線の快速急行に乗り、約 35 分で着いてしまうのだ。

都内から来た我々を「遠いところをわざわざようこそ」と出迎えた、相模原中等教育学校（以下、相模原中等）の鈴木恭子校長に、「そう遠くもありませんでした」と返すと、「わりと交通の便がいいんですよ」とニコリ。県北部中央に位置する相模原は市域も広く、（東京の町田市を挿んで実は接していない）横浜市の 437.4 km² に次いで 328.9 km² と、県内 2 位の広さを誇る。したがって、市内に高校も 17 校（県立だけで 15 校）



3 年理科で半年後に控える発表のため、研究テーマをグループごとに決める。その相談に個別に応じる教諭のアドバイスは実に的確だった

あるのだ。

人口約 375 万に上る、その横浜には現状、公立の中高一貫教育校は 2 校あるが、いずれも市立の併設型（市立南と横浜サイエンスフロンティア高校及び附属中）。中等教育学校は私立が 2 校あるのみだ。そして、県内には他に県立の平塚中等、そして川崎市立の併設型、川崎があるだけ（川崎も人口約 153 万人の政令指定都市）。

現状、都内で都立以外の公立中等教育学校は今回、併せて掲載する千代田区立九段中等教育だ一つ。3 つも政令指定都市を抱える神奈川だからこそ、こうした複雑な公立中高一貫教育校の配置にもなる。東京に次いで人口の多い神奈川では、人口 20 万以上の中核市が横須賀、施行時特例市が厚木・小田原・茅ヶ崎・平塚・大和と 6 つもある。それらエリアでも中高一貫教育校が生まれる可能性は高く、今後の県の中高一貫教育校政策を占う意味合いを、相模原中等は担わされているのだ。

広大な文教地区の枢軸として機能

相模原中等は近隣の橋本にある相模原高校と混同されがちだが、母体校はそれと並ぶ進学校だった相模大野高校。施設などを見ると、母体校をそのまま活かし、昭和後期のどこか懐かしい雰囲気さえ漂わせる。相模大野高は 1985 年、米陸軍医療センター（元相武台陸軍病院）跡に開校。同跡地には他にも相模大野中央公園・相模女子大学グリーンホール・相模大野図書館など文化施設がで

基本データ

沿革
1985 年：母体校の神奈川県立相模大野高等学校が開校
2009 年：中等教育学校へ移行（母体校は 14 年 3 月閉校）。
2017 年：副校長だった現校長が 4 代目として就任。

校長 鈴木恭子
所在地 神奈川県相模原市南区相模大野 4-1-1
交通 小田急小田原線・江の島線相模大野駅から徒歩 10 分。
出身著名人（相模大野高）落合真彩（フレスコボール選手）、
きら（漫画家）、畠中祐（俳優、声優）、
宮本ともみ（元サッカー日本女子代表）。

2019 年度 志願状況

定員数	受検者数	倍率
男女 計 160 名	男子 569 名 / 女子 659 名	7.675 倍

受検者数は昨年以上に女子が男子を上回り、倍率も約 8.24 倍に上る。ちなみに初年度（09 年）の倍率は男子 14.49 倍、女子 18.04 倍にもなった。

き、小中高、そして大学（相模女子大）まで密集する。

「相模大野駅を降り、駅前の商店街を抜けると、すぐ閑静な文教地区となり、生活の便もよいと思います」との鈴木校長の言葉に、少なくとも義務教育までの学校選びは、要は住まい選びでもある一とあらためて気づかされる。東京都民にとって物理的にもだが、心理的に最も近い他県の中高一貫教育校かもしれない。

冒頭にこれだけ地域性について述べたのも、相

開校当初からコンセプトを練ってきた鈴木校長と、カリキュラム作りに手腕を発揮する大河原副校長、他校での経験を生かし新しい風を吹き込む大谷教頭の連繋も見事に取れている





2年英語では、ゲストの外国人講師が英語で表現するコツを伝授。どんなスポーツが好きかとの生徒の質問に、「バスケットとテニス、ジョギングも嗜む」と答えた講師は、身振り手振りも交え、クラスの笑いを誘う

模原中等のスローガンが古きよき公立校らしいと思えたからだ。おっとりした校長の語り口にも、県内にただ2校という中高一貫教育校を運営する気負いは感じられない。ごく自然体である。

「学習は“しっかり学び”、生活は“じっくり育て”、キャリア教育は“ゆっくり探る”が我が校のモットーです。また、“育てたい3つの力”として、“科学・論理的思考力”“表現コミュニケーション力”“社会生活実践力”があります。この3つの力を意識しながらの教育です。特に理科、総合的な学習の時間にも力を入れています。つい先日（7月2日）も、『かながわ次世代教養』成果発表会がグリーンホールであり、6年の生徒が9つのテーマ発表をしました。『真鶴町の石材・本小松石のコンクリートへの利用』、『英単語の意味推測』などどれもユニークな発表でした」

この「かながわ次世代教養」を掲げるのが相模原中等と平塚中等の2校。そのための授業枠もある。いわゆる探究の時間だが、鈴木校長曰く「キャリア教育に基づいて、リーダーとは、働くとはなんだ、と遠くから次第に近づく」のを意識させるのだとか。校長は大河原広行副校長とともに、同校立ち上げ当初のコンセプト作りから関わっている。

我々に校内を案内しながらも、生徒に話しかけられては足を止める副校長からも、スローガンをただ唱えるだけではない、実践的な印象を受けた。

従来型学習にALが上手に溶け込む

同校の基盤もアクティブ・ラーニング（AL）



向かい合って会話のエクササイズに励む1年生たち。しっかり顔を上げ、明るい表情を浮かべるのは上級生となっても変わらない。一貫校ならではの積み上げを感じる瞬間だ

伊藤清子教諭による5年英語表記Ⅱのスピーキングアクティビティ



『伊曾保物語』を題材に、紙芝居作りに挑む1年生。発表時間内に物語の中の教訓をさらにわかりやすく伝えようと、各グループが創意工夫を凝らす

にある。「言うは易く行ふは難し」。看板倒れになりがちなALだが、同校では非常に地に足が着いていた。例えば1年の国語Bだと、まず『伊曾保物語』（江戸初期成立の『イソップ物語』翻訳版）を読ませ、そこで得た教訓を紙芝居に落とし込ませるという授業をしていた。グループに分かれた生徒らはアイデアを出し合い、絵と文章で担当を分け、楽しげに共同制作をしていた。

指導するのは浅野真樹子教諭。県立図書館での勤務経験もある、元は日本語学研究者だ。一目見て、その引き出しの多さを感じさせる授業だった。「古典の習い始めとして『伊曾保物語』があり、教科書には2篇収録されていて、さらに6篇を読ませました。古典＝文法のイメージがありますから、嫌いにさせない工夫は紙芝居。発表は10分内とだけ指定し、脚色も自由です。過去、2年の授業では百人一首の発表もありました」

各班挙手とじゃんけんで寓話から1篇を選び、話が短すぎと思ったら、より滑稽に膨らませて

遊び心を駆使し、取っつきにくい古典も楽しく学ぶ

いく。上中下に分かれる同書の（中）に所載される『犬と羊の事（原題：羊と犬と証人）』を例にとると、中1にはいささか理不尽でわかりづらいついかな…と思わないでもない。要約すればこんな話だ。

ある時、犬が羊と出会い、「お前に貸した一石の米（原文ではパン）をたった今返せ。でなければ、お前を殺すぞ」と迫った。ところが、羊には借りた覚えがない。そう言うと、犬は奉行に「訴え出る」と、狼や烏や鳶らと談合、証人として連れて来た。次々に偽証がなされた結果、犬が勝訴。羊は仕方ないので、自分の毛を剃って賠償した。このように悪人には味方が多いが、善人には少ない。だから、善人でも道理を曲げ、従わなければならないこともままある。

どうにも救いのないオチだが、丸裸にされた羊を可愛いイラストで表現する女子生徒は、「他はどれも物語の『教訓』がわかりやすいんですけど、これは違って、逆に面白いと感じました」と、いかにも現代っ子らしく話した。

意欲的な理科研究発表のプレスト

誤解されがちだが、ALは単なるメソッドではない。文字通り、生徒が自主的かつ意欲的に学べるなら、どんなやり方でもOKなのだ。という証

1年美術では消しゴム判作りに取り組む。見よう見まねの中から独創性生まれてくる様が、傍らで眺めていても楽しい





2年技術(IT活用)の時間では、生徒が各人の興味に基づいてプレゼンをしていた。コンピュタームには何台かの受像機が置かれ、内容が間近で見られる。発表はどれも堂々としたものだった

抛を見た気がしたのが、鈴木崇紀教諭の3年理科の授業だ。準備室で他の生徒が待機する中、鈴木教諭は物理室にグループごと呼び出し、年末の発表のためのテーマ設定の面談に応じていた。あるグループはとにかく「発電」をテーマにしたいが、それだけだととても広範。鈴木教諭は「まだ半年ある」と焦る生徒らを諭すように、ホワイトボードに図を描き入れる。

「まず発電があるな。化学電池、光電池、あるいは風力、それとも水力を用いるのか。コンデンサーをどう使うか…。太陽光発電は季節ごとの太陽の角度も影響するだろうね」

手回し発電機をつないでハンドルを回すと、電流が流れ、コンデンサーに電気が蓄えられる。これはよく用いられる実験器材だ。日本の電気の8割以上は火力発電に頼っているし、なんか燃焼で得られた熱エネルギーで水蒸気を発生させ、

タービンを回す仕組みを作るのはあり得るだろう。ただ、火山が近くにない限り、地熱発電にはいささか無理がある。原子力もノーカウントだ。

控えている生徒らもPCに向かい、自身が立てたテーマを調べつつ、侃々諤々とやっている。『回しやすいペンを求めて』とワードソフトにタイトルを打ち込んでいたのはある男子生徒。それはどんなペンなのか問うと、「重くて少し長いほうが回しやすいかも」とその生徒は返した。

驚くなかれ、ネットが普及した前世紀末以降、愛好者間の交流が盛んになり、ペン回しもけん玉やジャグリング同様、技の定義もなされ、体系立てられた競技として認知されているのだ。愛好者はペンスピナーあるいは単にスピナーと呼ばれ、複数のペンの部品を組み合わせて作る改造ペンの情報も、ネットには多数出回っている。

「オールマイティにできる子より、この生徒など典型ですが、これぞ！というピカイチタイプはこだわりを持って突き進めますね。彼は物作りが上



PCがほぼ全員に行き渡った理科講義室で調べ学習に勤しむ3年生たち(上)



2年かながわ次世代教養(伝統文化・歴史)の時間では、各班で伝統芸能などのテーマを決め、発表のためのポスター作りをしていた(下)

手なんです。チームで実験結果を持ち寄って、それを深める課程で、枠はどんどん飛び出ていいーと指導してます。ただ、理科の枠から出ないでねーとだけ頼みます(笑)」

物理専攻の鈴木教諭は、「ペン回しもれっきとした力学と慣性の法則に基づく」とも。確かにペン回しのような回転運動では、以下の運動方程式が成り立つ。

$N = I \alpha$ (Nは力のモーメント、Iは慣性モーメント、 α は角加速度)

と真面目に考察する愛好者も多いが、結局は強く弾けば、速く長く回るだけ。「上手く回すにはひたすら練習」だと、件の生徒も苦笑いしていた。

充実のICT設備を巧みに使いこなす

2年の社会では、各人がパワーポイント(PP)を駆使してのプレゼンをしていた。一人の女生徒

創造性の高さはあらゆる場面で発揮される

はYouTubeでのミュージックビデオ(MV)の総再生回数が2億2千万回超えという、ミュージシャンのEveについて熱く語っていた。

「Eveさんは音楽性も高く、歌詞も社会風刺的なうえ、アニメなどの映像の使い方も上手く、瞬く間にネットを通じてスターになりました。皆さんにEveさんを知ってもらいたくて、このテーマを選びました。私が一番好きな曲は『アウトサイダー』です。この曲も一ヶ月も経たないうちに再生回数は100万回を突破しました」

どこかRADWINPSなどを彷彿とさせる軽快な、現代的なポップスだが、Eveはバンドを組まず、ソロで活動しているという。元は音声合成ソフトのVOCALOIDを活用し、その楽曲を作るボカロPだったとか。同じようにボカロPからキャリアをスタートさせたアーティストに、去年紅白歌合戦にも出場した米津玄師がいる。

『伊曾保物語』との落差が心地よいくらいだが、これが現在進行形の学校ということ。ともかくこ

大学合格実績(過去3年間 過年度卒含む)

国公立大学名	2019	2018	2017
東京大学	3	9	6
京都大学	1	2	
東京工業大学	4	5	8
一橋大学	1	4	2
東京外国語大学	3	1	3
東京医科歯科大学	2		
お茶の水女子大学	3	1	
千葉大学	1		2
横浜国立大学	9	8	10
筑波大学	2	3	2
北海道大学	4	1	2
東北大学	4	2	1

私立大学名	2019	2018	2017
慶應義塾大学	16	18	25
早稲田大学	34	44	42
上智大学	10	11	16
国際基督教大学	1		2
東京理科大学	21	26	38
明治大学	41	49	49
青山学院大学	19	24	28
立教大学	14	27	23
中央大学	51	26	19
法政大学	20	20	43
学習院大学	3	3	6
津田塾大学	6	1	1
日本女子大学	7	8	10



母体校の施設をそのまま使うが、体育館も図書館も大きい。特に吹き抜けもあって開放的な図書館の、休み時間や放課後の賑わいには目を見張った

の女子生徒は PP を的確に用い、自分が愛する世界に普遍性があることを強調できていた。すでにわかっていることを弄ぶことは容易いが、新しい事象をいかにわかりやすく噛み砕くには、その他の教養も、弛まぬ努力も必要とされる。今のところ、この女子生徒には音楽の作り手に回る意志はないらしいが、こうした体験で表現者に一步近づけたようにも感じた。

鈴木校長も「知の土台あっての AL」と語っていたが、8月に行われた学校説明会でも、このように「生徒が主役」だったとか。会場の来場者に各教科の「相模原中等の学び」を披露するのだが、それが国語などだと、「一緒にやってみましょう」と習った内容をともに暗唱させたりするのだという。

また、相模原中等でも国際交流は盛んだ。5年生の英語の授業にはミネソタからの交換留学生も参加していた。彼女の滞在は1ヶ月ほどだが、4年には1年の予定でフィンランドから来日中の男子生徒もいるという。また、この授業には

ALT（外国語指導助手）として、フロリダ出身のタミー・マッソーラさんも加わっていた。

「Everyone works very hard. (みんな一生懸命勉強しますね)」と、マッソーラさんも相模原中等生の勤勉ぶりを讃えるが、来日してから7年が経ち、同校で教えるのは3年目。過去にはアイスランドやドイツからも留学生が来ていたとか。

高度な“普通さ”が溢れる放課後

一方で、近隣の小学校の5・6年生を招待し、2年生がプログラミングを教え、ロボットを動かす体験授業も夏休み中に実施。地域への貢献活動にも積極的だ。元々、相模大野高も「とても地元で愛されている学校」だったと、鈴木校長。その立ち位置を崩さず、中高一貫教育校に移行できているようだ。

現に2年の家庭科では、近所の保育園で演し物をするため、『大きなかぶ』やオリジナル創作童話の、立体紙芝居や飛び出す絵本などを制作中。放課後まで居残って、生徒らは嬉々として手と口を動かしていた。地域の多くの人と関わり、奉仕活動を通じ、末永い信認を得る。これぞ、真のゆとり教育ではなからうか。

さらに相模原中等で目を見張ったのは、図書館の利用率だ。司書の醍醐幸さんも「何年か前にもアンケートを取ったが、他校に比べ、読書習慣が身に付いていて驚いた」と語る。

「生徒たちの興味の幅はとても広く、そのニーズは尽きることがない。走るようにしてやってくる

美術室前の廊下で、自分でデザインした手染めの手拭いのカットイングをする4年生たち。生徒の作ったオブジェなどが至る所に置かれていたのも印象的だった



放課後、プロジェクターで原画を投影し、ステンドグラス風の装飾制作をする生徒ら（上）。母体校の1期生が創設し、指導にも当たるクラシックギター部は全国一の実力(中)。奉仕活動も盛んで、近所の保育園訪問のため、『大きなかぶ』の紙芝居などを作る生徒ら（下）

読書好きの生徒たちが活気のある図書館を作っています」

ネット全盛の今日、すごいと思う次第だが、そもそも適性検査型入試に強いのは、読書経験をしっかり積んでいる児童。多読を通じ、課題発見と解決に至るプロセスを自ずと叩き込めるからだ。

部活動では、クラシックギター部が全国有数レベル。相模大野高時代から続く伝統の部活だが、部員数も前期後期合わせて100名を超える。そ

部活に限らず、放課後の活発さでも群を抜く

適性検査の傾向と対策

それぞれ解答時間45分、300点配点の検査IとIIに加え、グループ活動による検査（課題1・2）を課す。県立2校の合同問題で、検査I・IIともに大問が4つ。この数年間は基本的に情報処理の問題が主で、作文以外は広い意味での算数の応用問題となる。示されたデータや条件を基に解答を導く「作業型問題」が中心で、算数の力を重視する。グループ活動による検査は、受検者を男女別に8人程度に分けて実施。宿泊学習の準備の場面を設定し、6年間でどのように行事に取り組んでいきたいかなど、自分の意見をまとめた後、グループで話し合っ

れだけの数の合奏は非常に難しいのだが、2015～18年と全国学校ギター合奏コンクールでも4連覇を達成している。

練習もパートごとだが、学年等で細かく分かれる。とても教

室内では収まらず、自主練は廊下でも繰り広げられる。「先輩の名前を覚えるだけでも大変」と話すのは、1年の女子生徒だ。小さな体で大きなギターを抱え、実に姿がいい。その解説によれば、コントラバスからソプラノに至るまで、低音から高音、7種のギターを用い、アンサンブルを築くのだという。過去の演奏動画もYouTubeで公開されているが、圧巻の一言だ。毎年春には入場無料の定期演奏会も開催。文化祭でもミニコンサートが開かれる。

ここでも母体校のスペックが活きている一と感じさせられる。地域に根ざした、当たり前の公立校の幅広さが進化・深化しているのだ。こうした学校は強い。その伸びしろも大きい。



創立10周年記念の校内放送のため、アイデアを募るポストが職員室前に置いてあった。こうした遊び心が校内の随所に見られる